

国保引き下げへ対話を

党北海道委が政策学習集会

日本共産党北海道委員会「険の引き下げ政策提言」報告
11日、「高すぎる国民健康保険」学習集会を札幌市で開き、

「広範な層と対話できる」と参加者が賛同の声を上げました。

提言作成に携わった党中央政策委員会の谷本論委員が報告。「政策提言のポイント」は、1兆円の公費負担増で国保料・税を協会けんぽ並みに引き下げることが明確に示し



谷本氏の講演を聞く参加者 11日、札幌市

た点です」と語った谷本氏。全国知事会の要望とも合致するといえます。

1兆円で「均等割」「平等割」部分をなくすとしたのは、「新しい点」だと強調。

国と地方自治体との協議で子どもへの均等割は少子化対策に反し、改善を求められており、仙台市や旭川市などで独自軽減を始めていると紹介。

「憲法が定めた地方自治がある限り、市町村長が判断した一般会計からの繰り入れを国が『禁止』とは言えない」と語りました。

北海道生活と健康を守る会連合会の三浦誠一会長は「国民皆保険制度を守るうえで高すぎる国保料引き下げは必要。国保証取り上げをどうしてもやめさせたい」と訴えました。

島山和也前衆院議員があいさつしました。